

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	12-1	
PDCA	主要事業名	一般廃棄物最終処分場建設事業	部課名	市民経済部環境課	担当	岩瀬		
					内線	23-3567		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 2 単位施策：循環型社会 全体事業期間： 令和 2 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 1,882,880 千円 会計 一般会計 歳出科目 04.02.02.02.59 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 15,200 千円							
	事業概要等	事業概要：						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
		現在使用している最終処分場は、令和6年度に埋立が終了する見込みである。今後も継続してごみ処理施設から発生する焼却残渣や破碎不燃物等を適切に埋立処理する必要があるため、新たに最終処分場を建設する。						
		事業目的： ごみ処理施設から発生する焼却残渣、破碎不燃物等を適切に埋立処理するため、新たに最終処分場を建設する。						
		事業内容： 最終処分場建設のため、基本計画等策定及び生活環境影響調査を実施する。						
	予算額 15,235 千円 財源内訳 市費 10,846 千円 国費 4,389 千円 県費 0 千円 その他 0 千円	問題点・課題等： 令和4年度に稼働する知多南部広域環境センターからの焼却残渣等は各市町で処理することとなっているため、今後も最終処分場が必要となる。						
		主要事業とする理由						
		現在使用している最終処分場が埋立終了した後も、焼却残渣や破碎不燃物等の埋立処理を継続して行うため、新たな最終処分場の建設が必要となるため。						
		得られる成果						
		新たに最終処分場を建設することで、今後も継続的に適正な埋立処理ができる。						
		目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	
		基本計画等策定及び生活環境影響調査の実施	実績値	—	—	—	—	
			目標値	—	—	—	—	
			実績値					
			目標値					
	実績値							
	目標値							
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用	
	15,235 千円	新たな最終処分場の建設のために必要な基本計画の策定と生活環境影響調査について、専門的な知識と技能を持った業者に委託して実施することで、令和4年度の実施設設計の基本資料を作成することができた。						
		成果指標		令和3年度	単位			
	基本計画等策定及び生活環境影響調査の実施	実績値	実施済	—				
		目標値	—	—				
C 課題の整理	事業の評価・課題	B						
		現在使用している最終処分場が、令和6年度に埋立が終了する見込みのため、令和5年度から新たな最終処分場の建設工事に着手するにあたり、令和3年度の基本資料に基づき令和4年度に実施設計を行う。						
A 今後課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	現状維持						
		令和5年度からの最終処分場建設工事着手に向けて、令和4年度に実施設計を行う。						
	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献	—	⑦コスト	ない		
		②市民ニーズ —	⑤成果向上の余地	ない	削減余地			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—			